

□主な内容

【第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会の参加者募集開始！】

平成 26 年 10 月 8 日 (水) ~ 10 日 (金) の 3 日間、富山市を研修地域として実施します。意欲のある方々の参加を期待しています。

【平成 26 年度 JCOMM 四賞の選定結果が発表されました！】

JCOMM 実行委員会では、国内の様々なモビリティ・マネジメントについての特に優秀な取り組みや研究を表彰する、JCOMM 賞の平成 26 年度の各賞受賞者を選定しました。

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 95 回)

●「まちの魅力と交通について」

【京都大学大学院工学研究科特定教授 土井 勉】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 95 回)

●「旭川市における公共交通分野での取り組みについて」

【旭川市 総合政策部政策推進課 丸 修平】

3. ニュース／トピック

●平成 26 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集について【国土交通省、経済産業省】

●燃料電池自動車の普及促進策に向けた国際圧縮水素自動車燃料装置用容器の技術基準化について【経済産業省】

●交通環境学習を実践する小中学校を募集しています！(9/30 まで)【エコモ財団】

●平成 26 年度 JCOMM 四賞の各受賞者について【日本モビリティ・マネジメント会議】

●平成 26 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(中小トラック運送業者における低炭素化推進事業)の公募について【環境優良車普及機構】

●平成 26 年度県下一斉ノーマイカーデー実施について【青森県】

●平成 26 年度福島県エコドライブ講師派遣事業について【福島県】

●平成 26 年度「エコ モビリティ ライフ」推進表彰 候補団体の募集について【愛知県】

●BRT トータルデザインの概要の公表について【新潟市】

●公共交通機関の利用を推進する「eco サマー」の取組みについて【京都市】

●2 人乗り超小型モビリティの公道走行認定について【東京大学】

●クルマと家電をつなぐサービスの共同開発について【トヨタ自動車、パナソニック】

● 電動車両 (PHV・PHEV・EV) の充電インフラネットワーク構築に向けた新会社「日本充電サービス」の設立について【トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、三菱自動車工業、日本政策投資銀行】

● 大型商用車に対する燃料消費と CO2 排出量削減戦略について【欧州委員会】

#### 4. イベント情報

● 第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会 (富山市)【2014/10/8-10】

● 公開シンポジウム 2014 低炭素社会に向けて【2014/6/27】

● 公益財団法人 豊田都市交通研究所 研究成果報告会【2014/7/4】

● エコドライブ講習会【2014/7/8】

● 2014 夏 LRT フォーラム「現実味を帯びてきた横浜の LRT～都心臨海部再生マスタープランとは何か」【2014/7/12】

● EV・PHVタウンシンポジウム—in 佐賀—【2014/7/18】

● 第 9 回日本モビリティ・マネジメント会議【2014/7/25-27】

● 路面電車サミット in 高岡【2014/7/26】

● 一般財団法人 地域公共交通総合研究所 第 2 回シンポジウム「交通政策基本法」  
「地域公共交通活性化再生法」への実務対応【2014/8/7】

● 第 12 回 ITS シンポジウム 2014【2014/12/4-5】

● エコプロダクツ 2014 (第 16 回)【2014/12/11-13】

#### 5. その他

● EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

● 平成 26 年度エコドライブ活動コンクールへの参加者募集！(7/18 まで)

● EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

● 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

● 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

● エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

● 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

● 記事募集中！

---

#### 1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 95 回)

● 「まちの魅力と交通について」

【京都大学大学院工学研究科特定教授 土井 勉】

下の図を観て下さい。これは最近の講演などで多くの人たちに観ていただいている図です。

「A と B、どちらのまちが好きですか？」



本市では近年、中央大学の秋山哲男先生から御助言をいただきながら、公共交通分野における取り組みを活発化させております。平成 25 年度には「『住んで』よし『訪れて』よしの街と交通をつくる」ことを計画理念とする「旭川市公共交通ランドデザイン」と、それを具体化していくための「旭川市地域公共交通総合連携計画」を策定いたしました。これらの計画の中では、自家用車から公共交通への転換を促す理由のひとつとして、環境への配慮にも言及されています。

本年度の公共交通分野の取り組みとしては、地域協働推進事業の実施と、住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業（環境省）への参加が挙げられます。

まず、地域協働推進事業においては、コミュニケーションをとおして市民の行動変容を促すモビリティマネージメントを3ヶ年の計画で実施していく予定です。具体的には、初年度、2地域において出前講座とワークショップを開催し、公共交通の活用に抵抗感を持っている自家用車のユーザーに、公共交通への理解を深めてもらう取り組みを展開していきます。また、子どもの行動が保護者（特に母親）の行動に影響を与えるという研究結果をもとに、小学生向けの公共交通教育も実施する予定です。その他にも、現在、広く市民に活用されている「公共交通マップ」の改訂にも着手していきたいと思っています。

もう一方の、住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業においては、事業受託者の民間事業者が中心となり（旭川市は共同実施という形で協力）、学生などの若い世代を含む市民が、基幹交通の在り方、待合環境の改善といったテーマについてワークショップを行いながら議論を進めています。本年度末には交通分野とエネルギー分野の研究を組み合わせ、低炭素都市形成に向けての提言が、事業受託者によって行われる予定です。

幸い、旭川市では、これまでも行政による公共交通に対する赤字補助的な支出は一定程度に抑えられてきました。さらに近年は、デマンド交通の導入によって、住民サービスの向上と費用抑制を両立させることに成功しています。しかし、今後の高齢化と人口減少、環境への配慮の必要性の高まりを考えると、更なる公共交通の進化が必要になると認識しています。今後も本市では、実験的な手法を含め、様々な施策を検討していきたいと考えております。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●平成 26 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集について【国土交通省、経済産業省】

国土交通省と経済産業省では、物流分野における地球温暖化対策に特に顕著な功績のあった事業者に対し、大臣表彰・局長級表彰を行うため、優良事業の募集を開始しました。受賞者は、12月に開催予定の「グリーン物流パートナーシップ会議」において取組内容を紹介いただく予定です。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000136.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000136.html)

●燃料電池自動車の普及促進策に向けた国際圧縮水素自動車燃料装置用容器の技術基準化について【経済産業省】

経済産業省は、燃料電池自動車が平成 27 年(2015 年)までに本格的に普及するための準備の一環として、水素及び燃料電池の自動車に関する世界技術規則(gtr)を国内に取り込むため、平成 26 年 5 月 30 日付けで高圧ガス保安法に基づく容器保安規則、容器保安規則に基づき表示等の細目、容器再検査の方法を定める告示等を改正しました。

<http://www.meti.go.jp/press/2014/05/20140530002/20140530002.html>

●交通環境学習を実践する小中学校を募集しています！(9/30 まで)【エコモ財団】

エコモ財団では、モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)の実施に意欲的な教員を募集し、ノウハウの提供や資金面での支援を行います。

[http://www.mm-education.jp/gakkou\\_sien.html](http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html)

●平成 26 年度 JCOMM 四賞の各受賞者について【日本モビリティ・マネジメント会議】

JCOMM 実行委員会では、国内の様々なモビリティ・マネジメントについての特に優秀な取り組みや研究を表彰する、JCOMM 賞の平成 26 年度の各賞受賞者を選定しました。

JCOMM マネジメント賞では、エコモ財団が支援する「小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業」が選定されました。

[http://www.jcomm.or.jp/9th\\_jcomm/jcomm\\_award\\_winners\\_26.html](http://www.jcomm.or.jp/9th_jcomm/jcomm_award_winners_26.html)

●平成 26 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(中小トラック運送業者における低炭素化推進事業)の公募について【環境優良車普及機構】

一般財団法人環境優良車普及機構では、環境省から二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付決定を受け、トラック輸送における二酸化炭素の排出削減を図り、もって地球環境保全に資することを目的として、先進環境対応型ディーゼルトラックを導入する事業に対して補助金を交付する事業を実施することとしています。この度、本補助金の公募を開始することとしましたので、お知らせします。

[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz\\_local/26\\_a14/index.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/26_a14/index.html)

●平成 26 年度県下一斉ノーマイカーデー実施について【青森県】

青森県では、7 月 21 日(月)～31 日(木)の間、可能な限り自家用車の利用を抑制し、公共交通機関の利用を促進する、県下一斉ノーマイカーデーを実施します。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/release/2014/50473.html>

●平成 26 年度福島県エコドライブ講師派遣事業について【福島県】

福島県では、地球温暖化防止対策の一環として、平成 26 年度福島県議定書事業(事業所版)参加事業所が主催してエコドライブ講習会(座学)を実施する場合、希望する事業所

にエコドライブ講師を派遣し、福島議定書事業に参加する事業所の取組を支援します。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035a/ecodrive-koushihaken.html>

●平成 26 年度「エコ モビリティ ライフ」推進表彰 候補団体の募集について【愛知県】

愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の推進に取り組んでおり、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(会長:愛知県知事)を中心に、「エコモビ」の普及啓発をはじめとした様々な取組を行っています。取組の一環として、「エコモビ」推進のための取組や「エコモビ」活動を積極的かつ効果的に行っている団体を表彰する「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体を募集しています。

<http://www.pref.aichi.jp/0000072533.html>

●BRT トータルデザインの概要の公表について【新潟市】

新潟市では、BRT 車両や交通結節点、BRT 駅などの施設が利用者にとって分かりやすく、便利で快適な公共交通となるよう、車両や駅などのデザインに統一感をもたせる「トータルデザイン」の考え方のもとに取組を進めています。この度、新潟市は「トータルデザイン」の概要を公表しました。

[http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/newsystem/oshirase/total\\_design\\_gaiyo.html](http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/newsystem/oshirase/total_design_gaiyo.html)

●公共交通機関の利用を推進する「eco サマー」の取組みについて【京都市】

京都市内を走る 9 つのバス社局と嵐電(京福電鉄)では、子どもたちの夏休みに合わせて、環境負荷の少ない公共交通機関を利用して、家族で京都散策を楽しめる「eco サマー」の取組みを実施します。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000168345.html>

●2 人乗り超小型モビリティの公道走行認定について【東京大学】

東京大学・柏市超小型モビリティ協議会は、日本で初めて、高齢者の円滑な外出手段となりうる 2 人乗りの超小型電気自動車の公道走行認定を国土交通省から受けたことを発表しました。

[http://www.k.u-tokyo.ac.jp/info/entry/22\\_entry310/](http://www.k.u-tokyo.ac.jp/info/entry/22_entry310/)

●クルマと家電をつなぐサービスの共同開発について【トヨタ自動車、パナソニック】

トヨタ自動車とパナソニックは、両社で協力し、便利で快適なスマートモビリティ社会を実現するクルマと家電をつなぐサービスの共同開発を進めており、本年後半にも新たなサービスの提供を開始します。

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/2982983>

<http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/2014/06/jn140609-1/jn140609-1.html>

- 電動車両 (PHV・PHEV・EV) の充電インフラネットワーク構築に向けた新会社「日本充電サービス」の設立について【トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、三菱自動車工業、日本政策投資銀行】

トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、三菱自動車工業、日本政策投資銀行は、電動車両用充電器の設置活動、および利便性の高い充電インフラネットワークの構築を推進するため、新会社「日本充電サービス」を設立しました。

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/2838179/>

[http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2014/\\_STORY/140530-01-j.html](http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2014/_STORY/140530-01-j.html)

<http://www.honda.co.jp/news/2014/c140530.html>

[http://www.mitsubishi-motors.com/publish/pressrelease\\_jp/corporate/2014/news/detaile530.html](http://www.mitsubishi-motors.com/publish/pressrelease_jp/corporate/2014/news/detaile530.html)

[http://www.dbj.jp/ja/topics/dbj\\_news/2014/html/0000016069.html](http://www.dbj.jp/ja/topics/dbj_news/2014/html/0000016069.html)

- 大型商用車に対する燃料消費と CO2 排出量削減戦略について【欧州委員会】

欧州委員会は、大型商用車に対する燃料消費と CO2 排出量削減戦略を承認しました。これは、トラックやバスといった大型商用車に対し、燃料消費と CO2 排出量の制限の導入を目指すもので、欧州委員会は、2015 年中に、新規に登録される大型商用車に対する CO2 排出量の証明、報告、監視を規定する法案の提出を計画しています。

[http://europa.eu/rapid/press-release\\_IP-14-576\\_en.htm](http://europa.eu/rapid/press-release_IP-14-576_en.htm)

---

#### 4. イベント情報

- 第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会 (富山市)

日時: 2014 年 10 月 8 日 (水) ~ 10 日 (金)

場所: ポルファートとやま 翡翠の間ほか

主催: EST 普及推進委員会、エコモ財団、北陸信越運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>

- 公開シンポジウム 2014 低炭素社会に向けて

日時: 2014 年 6 月 27 日 (金) 13:00 ~ 17:30

場所: 奈良県新公会堂

主催: 独立行政法人 国立環境研究所

<http://www.nies.go.jp/event/sympo/2014/>

- 公益財団法人 豊田都市交通研究所 研究成果報告会

日時: 2014 年 7 月 4 日 (金) 13:30 ~ 16:20

場所: 豊田産業文化センター小ホール

主催:公益財団法人 豊田都市交通研究所

<http://www.ttri.or.jp/pdf/2014houkokukaitirashi.pdf>

●エコドライブ講習会

日時:2014年7月8日(火) 13:00~16:30

場所:中部トラック総合研修センター

主催:愛知県、一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)愛知支部

<http://www.pref.aichi.jp/0000071971.html>

●2014 夏 LRT フォーラム「現実味を帯びてきた横浜の LRT～都心臨海部再生マスタープランとは何か」

日時:2014年7月12日(土) 13:30~16:30

場所:横浜市開港記念会館 6号室

主催:NPO 法人横浜に LRT を走らせる会、横浜の公共交通活性化をめざす会

<http://lrt.cocolog-nifty.com/>

●EV・PHV タウンシンポジウム—in 佐賀—

日時:2014年7月18日(金) 10:00~16:00

場所:アバンセホール

主催:経済産業省、一般社団法人 次世代自動車振興センター

<http://www.meti.go.jp/press/2014/06/20140612002/20140612002.html>

●第9回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2014年7月25日(金)~27日(日)

場所:とかちプラザ(レインボーホール他)

主催:一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

●路面電車サミット in 高岡

日時:2014年7月26日(土)

場所:ウイング・ウイング高岡 4F 高岡市生涯学習センターホール

主催:路面電車と都市の未来を考える会・高岡(通称:RACDA 高岡)

<http://ractama.cocolog-nifty.com/blog/2014/01/racda-4c56.html>

●一般財団法人 地域公共交通総合研究所 第2回シンポジウム「交通政策基本法」  
「地域公共交通活性化再生法」への実務対応

日時:2014年8月7日(木)13:30~17:20

場所:岡山国際交流センター2階「国際会議場」  
主催:一般財団法人 地域公共交通総合研究所  
[http://chikoken.org/simpo\\_20140807.html](http://chikoken.org/simpo_20140807.html)

●第12回 ITS シンポジウム 2014

日時:2014年12月4日(木)、5日(金)  
場所:東北大学百周年記念会館 川内萩ホール  
主催:特定非営利活動法人 ITS Japan  
[http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/its\\_symposium12/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium12/)

●エコプロダクツ 2014(第16回)

日時:2014年12月11日(木)~13日(土)  
場所:東京ビッグサイト 東ホール  
主催:一般社団法人 産業環境管理協会、日本経済新聞社  
<http://eco-pro.com/eco2013/contact/2014.html>

---

## 5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！  
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。  
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。  
[http://www.estfukyu.jp/partnership\\_gaiyo.html](http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html)
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！  
<https://twitter.com/officeEST>
- 平成26年度エコドライブ活動コンクールへの参加者募集！（7/18まで）  
<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！  
配信申込はこちらから  
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ  
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)
- 記事募集中！  
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: [magazine@ecomoto.or.jp](mailto:magazine@ecomoto.or.jp) (担当: 熊井)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomoto](https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomoto)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>